

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
生活文化概論		17405	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渋谷 美智	選択	2	公立保育所保育士		

### 授業の到達目標

子どもの生活は、遊びそのものであり、子どもの人格は遊びを通して形成されるものであるとも言える。日本は四季に富み、四季にまつわる様々な子どもを取り巻く記念日・行事がある。この素晴らしい日本の文化を後世に伝えていくことの重要性を理解し、子どもの生活文化の様々な側面を学ぶことを目的とする。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を考える。

### 授業の概要

現代社会に生きる子どもたちの生活や文化に焦点をあて、そこに生きる子どもたちの諸相を見ていく。体験的学習を織り交ぜ、学生が自らの体験を通して、子ども文化のイメージがもてるようにする。

### 授業計画

- 1 授業の目的 生活科を踏まえて考える生活文化概論
- 2 子ども文化の意義、定義とその構造
- 3 子どもを取り巻く生活環境の変化
- 4 子どもを取り巻く生活環境について
- 5 現代の子どもたちの遊びと生活
- 6 集団遊びの重要性
- 7 異年齢集団の遊びの重要性
- 8 自然とのかかわりについて(教室を出ての実験)
- 9 自然の中での遊びの重要性
- 10 伝承遊びについて
- 11 児童文化財について
- 12 1年を通して、季節の子ども文化と遊び
- 13 季節の遊びについて(お正月)
- 14 子どもを取り巻く「ひと」「もの」「こと」
- 15 まとめ・定期試験

### 授業の方法

講義・演習・実践により進める。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

### テキスト

必要書類については、随時プリントを配布する。

### 参考図書

子どもとあそび 仙田満著 岩波新書  
 児童文化 皆川美恵子、武田京子著 ななみ書房  
 子どもに伝えたい年中行事・記念日 萌文書林

### 留意事項

実践を多く取り入れるため、授業計画についてはかなり変更があるので、教務課前掲示板を確認しておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育・学校心理学	PC	17411	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
濱田 誠二郎	選択	2	臨床心理士、学校心理士S V、公立小教員		

### 授業の到達目標

幼児、児童及び生徒の心身の発達や学習の過程について、基礎的な知識を身に付ける。代表的な研究者の理論に基づく日常的な具体例を取り上げ、教育現場において生じる問題や背景、また、心理社会的課題及び必要な支援を発達を踏まえた主体的な学習活動を支える指導の基本的な考え方として理解する。

このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。  
 このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

教育課程上の様々な場面に現れる課題、主に幼児期・児童期における乗り越えるべき課題を具体的には、教育現場において生じる問題や背景、また、心理社会的課題及び必要な支援心理学的な切り口で捉える。子どもの健やかな成長のために、発達・学習・人格・適応・保育者との関係性・特別支援教育等の現状と課題などを体系的に学ぶ。

### 授業計画

- 1 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するエリクソンの理論と方法
- 2 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するピアジェの理論と方法
- 3 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する道徳的なコールバーグの理論と方法
- 4 幼児期から青年期において、社会性の発達
- 5 幼児期から青年期における現代の発達課題
- 6 認知発達、認知機構の変遷
- 7 主体的な学びの開発と体系化
- 8 主体的、対話的で深い学びの実践例
- 9 学習内容、発達に応じた適切な学習形態
- 10 動機づけ、意欲を引き出す学習形態の在り方に関する事例研究
- 11 主体的な学習の成果を的確に捉えた評価
- 12 学習成果の可視化
- 13 主体的な学習、思考力を育む学習集団
- 14 発達障害の理解と支援
- 15 まとめと振り返り

### 授業の方法

講義が中心ではあるが、時には双方向のコミュニケーションを採り入れて、各自の考えを交流しながら進める。

### 準備学修

各自の幼児期・学童期を振り返り、良かった支援や今でも疑問に思えることを整理しておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき5点減点とする

### テキスト

必要に応じて指示する。

### 参考図書

授業で指示する

### 留意事項

マスクミでとり上げられる子どもに関する記事に興味・関心を持っておく。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈こどもの生活世界〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
教育相談(カウンセリングを含む)	教職小	17497	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
濱田 誠二郎	選択	2	臨床心理士、公認心理師、学校心理士SV、公立小教員		

### 授業の到達目標

幼児、児童及び生徒の心身の発達や学習の過程について、基礎的な知識を身に付ける。代表的な研究者の理論に基づく日常的な具体例を取り上げ、発達を踏まえた主体的な学習活動を支える指導の基本的な考え方を理解する。  
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

教育課程上の様々な場面に現れる課題、主に幼児期・児童期における乗り越えるべき課題を心理学的な切り口で捉える。子どもの健全な成長のために、発達・学習・人格・適応・保育者との関係性・特別支援教育等の現状と課題などを体系的に学ぶ。

### 授業計画

- 1 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するエリクソンの理論と方法
- 2 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するピアジェの理論と方法
- 3 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する道徳的なコールバーグの理論と方法
- 4 幼児期から青年期において、社会性の発達
- 5 幼児期から青年期における現代の発達課題
- 6 認知発達、認知機構の変遷
- 7 主体的な学びの開発と体系化
- 8 主体的、対話的で深い学びの実践例
- 9 学習内容、発達に応じた適切な学習形態
- 10 動機づけ、意欲を引き出す学習形態の在り方に関する事例研究
- 11 主体的な学習の成果を的確に捉えた評価
- 12 学習成果の可視化
- 13 主体的な学習、思考力を育む学習集団
- 14 発達障害の理解と支援
- 15 まとめと振り返り

### 授業の方法

講義が中心ではあるが、時には双方向のコミュニケーションを採り入れて、各自の考えを交流しながら進める。

### 準備学修

各自の幼児期・学童期を振り返り、良かった支援や今でも疑問に思えることを整理しておくこと。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

学内規定に準ずる

### テキスト

『教育相談ワークブック』桜井美加・齋藤ユリ・森平直子 著 北樹出版

### 参考図書

授業中に紹介する

### 留意事項

マスクミでとり上げられる子どもに関する記事に興味・関心を持っておく。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
地域子育て支援 I		17502	Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渋谷 美智	選択	1	公立保育所保育士		

### 授業の到達目標

子育て支援とは何か。子育て支援に対する保育者の役割が明確化され、幼稚園や保育所で子育て支援について様々な場や対象に即した支援を行っている。その中で地域の子育て家庭に対する支援について、実践を通し具体的に理解し、積極的に取り組んでいける保育者を目指す。このクラスでは、KAISEIパーソナリティーのK（思いやり）とS（奉仕）を考え、I（知性）を養う。

### 授業の概要

子育てを社会全体で支える「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、幼稚園、保育所、地域で子育て支援が盛んに行われている状況の中、子育て支援とは何かを考え、保育者を目指している学生が何故子育て支援が必要なのか、親子が求める子育て支援とは何かを考え、親子が育ちあうような子育て支援のあり方を学習する。また、子育て支援の実践を積極的に体験する。

### 授業計画

- 1 子育て支援とは何か。(DVD視聴「子育て支援とは?」)
- 2 地域子育て支援事業拠点における支援
- 3 地域子育て支援の取り組みへの参加(1)
- 4 地域子育て支援の取り組みへの参加(2)
- 5 地域子育て支援の取り組みへの参加(3)
- 6 地域子育て支援の取り組みへの参加(4)
- 7 地域子育て支援の取り組みへの参加(5)
- 8 振り返りとまとめ。

### 授業の方法

演習を中心とし、実際体験によって理解を深める。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。  
平常点70%、定期試験30%

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

### テキスト

必要資料については、随時プリントを配布する。

### 参考図書

子育ての変貌と次世代育成支援 原田正文著  
世界に学ぼう！子育て支援 汐見稔幸著  
地域で子育て 渡辺頼一郎編著  
あそびうた大全集 永岡書店

### 留意事項

受講者は子育て支援に関心のあるもの。本学が行う子育て支援事業「海星子育てひろば」に参加し、実践を行い子育て支援の理解を深め、また、保育技術の向上を図る。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については、教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
地域子育て支援 II		17503	IV	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
渋谷 美智	選択	1	公立保育所保育士		

## 授業の到達目標

子育て支援とは何か、子育て支援に対する保育者の役割が明確化され、幼稚園や保育所で子育て支援について様々な場や対象に即した支援を行っている。その中で地域の子育て家庭に対する支援について、実践を通し具体的に理解し、積極的に取り組んでいける保育者をめざす。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）を考え、I（知性）を養う。

## 授業の概要

子育てを社会全体で支える「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、幼稚園、保育所、地域で子育て支援が盛んに行われている状況の中、子育て支援とは何かを考え、保育者をめざしている学生が何故子育て支援が必要なのか、親子が求める子育て支援とは何かを考え、親子が育ちあうような子育て支援のあり方を学習する。また、子育て支援の実践を積極的に体験する。

## 授業計画

- 1 地域子育て支援 I の振り返り。
- 2 地域子育て支援の取り組みへの参加(1)
- 3 地域子育て支援の取り組みへの参加(2)
- 4 地域子育て支援の取り組みへの参加(3)
- 5 地域子育て支援の取り組みへの参加(4)
- 6 地域子育て支援の取り組みへの参加(5)
- 7 地域子育て支援の取り組みへの参加(6)
- 8 振り返りとまとめ。

## 授業の方法

演習を中心とし、実際体験によって理解を深める。

## 準備学修

webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。  
平常点70%、定期試験30%

## 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

## テキスト

必要資料については、随時プリントを配布する。

## 参考図書

子育ての変貌と次世代育成支援 原田正文著  
世界に学ぼう！子育て支援 汐見稔幸著  
地域で子育て 渡辺顕一郎編著  
あそびうた大全集 永岡書店

## 留意事項

受講者は子育て支援に関心のあるもの。本学が行う子育て支援事業「海星子育てひろば」に参加し、実践を行い子育て支援の理解を深め、また、保育技術の向上を図る。

## オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については、教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈こども関連科目〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
ボランティア論		17505	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
西橋 隆三	選択	2	元市職員（福祉事務所長・障がい児療育センター所長）、社会福祉士		

## 授業の到達目標

わが国のボランティア活動は、幅広い分野において多様な形態で展開されている。授業では、ボランティアの理念・原則・各分野の基本を学習しながら「興味」「関心のあるテーマ」などから主体的に多様なボランティア活動に参加することを目標とする。またボランティア論の講義を通じて、福祉の対象者への関心を高め、将来の社会参加や社会貢献に繋げることをめざす。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）A（自律）S（奉仕）を養う。

## 授業の概要

授業では、講義、討議などを織り込みながら、参加のモチベーションを主体的に高めることを促す。「自分にとってのボランティアは何か」「どんな活動ができるか」「ボランティアのあり方は」「ボランティアの意義と課題」などを授業を通じて考えていく。まず基本理念や歴史、組織や活動の実際についての概略を学んだあと、人と防災未来センターや国際協力機構関西センター（JICA関西）での学習により内容を深めていく。次に各分野のボランティア活動の現況を学び、社会福祉施設での授業やボランティア実習も行う。これらの多様な視点からの学びによりそれぞれにとってのボランティアの意義や参加意識を深めていくことがねらいである。

## 授業計画

- 1 オリエンテーション
- 2 ボランティアの基本理念(ボランティアを考えるために)
- 3 ボランティアの歴史
- 4 人と防災未来センター及び国際協力機構関西センター(JICA関西)での実習(土曜日)
- 5 災害とボランティア活動(阪神淡路大震災と東日本大震災など)
- 6 国際社会とボランティア活動(JICA関西の事業を中心に)
- 7 社会福祉施設でのボランティア活動
- 8 社会福祉施設での授業とボランティア実習1(土曜日)
- 9 社会福祉施設での授業とボランティア実習2(土曜日)
- 10 子どもの貧困とボランティア活動
- 11 環境問題とボランティア活動
- 12 地域社会とボランティア活動
- 13 医療福祉とボランティア活動
- 14 プレゼンテーション(ボランティア論で学んだことを発表)

15 まとめとしての講義の後、ボランティア論のレポート提出を求める。

## 授業の方法

講義を主体としながらディスカッション、プレゼンテーションや視聴覚教材を取り入れていく。また人と防災未来センターや国際協力機構関西センター（JICA関西）での実習及び社会福祉施設での実習に参加する。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

平常点40%、プレゼンテーション10%、レポート50%で評価します。

## 欠席について

欠席が5回を超えた場合は、不合格とする。

## テキスト

特に指定はしない。必要な資料を配布する。

## 参考図書

必要な参考図書については授業の中で提示する。

## 留意事項

1. 人と防災未来センターと国際協力機構関西センター（JICA関西）での学習に参加すること（土曜日1回）
2. 社会福祉法人での授業とボランティア活動を体験すること（土曜日1回）

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育内容の研究・環境			17721	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	2	公立保育所保育士			

### 授業の到達目標

近年の社会の変化にともなって、子どもを取り巻く様々な環境も従来とは変わり続けている。この現状をしっかり受け止め、子どもを取り巻く環境のあり方や保育者の役割を理解する。環境が成長過程に影響することが理解でき、その時期にふさわしい環境の構成あるいは環境の取り入れ方が分かるようになる。幼児に影響を与える人的指導場面として保育者が大きな存在となることを踏まえ、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）の育成を目指す。

### 授業の概要

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領の領域「環境」に「周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」と述べられている。子どもたちが園内外の“自然・文化・人・もの・事象・文字・記号”などに自ら触れ、生きる力を育む直接的体験を積み重ねられる環境を準備するために、保育者自身が様々な環境に対し興味や関心をもち理解し、子どもの主体性を引き出す為にどのような環境づくりをしていけばいいのか、指導案作成と模擬保育等を通して、保育者自身も常に主体性を持って環境について学び、専門的な能力を身につけていけるようにする。

### 授業計画

- 1 保育と「環境」
- 2 領域「環境」とは
- 3 子どもの育ちと領域「環境」(DVD視聴「子どもを育む保育の環境」)
- 4 教室を出ての実験体験とグループワーク
- 5 子どもを取り巻く自然環境
- 6 生き物とのかかわりにおける子どもの育ち(DVD視聴「動物を知る」)
- 7 子どもを取り巻く人的環境
- 8 子どもを取り巻く人的環境(事例検討)
- 9 子どもを取り巻く物的環境
- 10 子どもの活動をひきだす保育環境(数量・図形・文字・標識への興味と認識の育ち)
- 11 子どもの活動をひき出す保育環境(教室を出て実験体験、DVD視聴)
- 12 子どもを育む環境
- 子どもを取り巻く社会的環境

- 13 環境を通した保育の内容・教材研究
- 14 子どもを守り育てる環境
- 気になる子どもと環境
- 15 環境を通した教育・保育の現在の課題 まとめ
- 16

### 授業の方法

講義を中心とし、内容に沿ったDVD視聴や事例の中から、グループで話し合ったり意見発表を多く取り入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%。  
レポートの提出や振り替えりテストなどについて講義の中でフィードバックを行う。

### 欠席について

欠席数は成績評価に反映する

### テキスト

「保育内容 環境 あなたならどうしますか？」岡澤陽子、杉本裕子、平野麻衣子、松山洋平、山下文一、萌文書林

### 参考図書

保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領解説 フレーベル館  
3,4,5歳児が夢中になる実践「造形遊び」 平田智久監修 ナツメ社  
あそびうた大全集 永岡書店

### 留意事項

教室を出ての実験体験等を含むので、授業計画が変更する可能性がある為、教務課前のボードをよく注意して見ておくこと

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
幼児教育指導法			17725	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
森 晴美	選択	2	公立幼稚園教員、私立保育所保育士			

### 授業の到達目標

幼児期の教育・保育の実践にあたり、基本となる教育内容の再認識と指導力の習得をめざす。この科目ではKAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

### 授業の概要

幼児期の教育の基本を再認識するとともに、視覚教材を通して、子どもの生活や遊びの具体について学ぶ。また教材研究と演習、指導案作成と模擬保育を通して、教師の役割について実践的な習得をめざす。

### 授業計画

- 1 幼児の生活と幼稚園の役割、幼児期の発達の特徴
- 2 領域「健康」と指導法①
- 3 領域「健康」と指導法②
- 4 領域「人間関係」と指導法①
- 5 領域「人間関係」と指導法②
- 6 領域「環境」と指導法①
- 7 領域「環境」と指導法②
- 8 領域「言葉」と指導法①
- 9 領域「言葉」と指導法②
- 10 領域「表現」と指導法①
- 11 領域「表現」と指導法②
- 12 子どもの遊びを見取り、保育を構想する
- 13 模擬保育とカリキュラムマネジメント①
- 14 模擬保育とカリキュラムマネジメント②
- 15 まとめを行ってから試験をする

### 授業の方法

幼稚園生活の様子をDVDを視聴したり、フォトカンファレンスをしたりしながら学修を進める。また、教材作成、実技演習、グループディスカッションなどを通して、指導力の基礎を身に付ける。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

- ①教材作成や指導案作成、模擬保育実践を行い、授業内で教員によるフィードバックを行う
- ②平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

### テキスト

文部科学省『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』、厚生労働省『保育所保育指針解説 平成30年3月』、内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』株式会社フレーベル館

### 参考図書

文部科学省『幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開』チャイルド本社

### 留意事項

自分の得意分野をいかす教材作成や指導案作成・保育実践を自信をもって行うことを期待する

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
子ども家庭支援論			17759	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
浅井 由美	選択	2				

### 授業の到達目標

子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解する。保育の専門性をいかした子ども家庭支援の意義と基本について理解する。子育て家庭に対する支援の体制について理解する。子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのI（知性）を養うとともに、K（思いやり）を考える。

### 授業の概要

家族の機能、家庭の意義や役割、少子高齢社会・男女共同参画社会における家族関係や家庭生活の変化、地域社会の変容、家族と家庭を取り巻く社会的・経済的状況について概観する。子ども家庭支援の意義と役割、保育士による子ども家庭支援の意義と基本、子育て家庭に対する支援体制や支援方法等について解説する。子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開や関係機関との連携を考える。

### 授業計画

- 1 子ども家庭支援の意義と必要性
- 2 子ども家庭支援の目的と機能
- 3 子ども家庭支援における保育士等の役割
- 4 保育士に求められる基本的態度
- 5 保育の特性と保育士の専門性をいかした子ども家庭支援
- 6 保護者との相互理解と信頼関係の形成
- 7 家庭の状況に応じた支援
- 8 地域の資源の活用と関係機関との連携・協力
- 9 子育て家庭の福祉を高めるための社会資源
- 10 子育て支援施策・次世代育成支援策
- 11 子ども家庭支援の内容と対象
- 12 保育所等利用児童の家庭への支援
- 13 地域の子育て家庭への支援
- 14 要保護児童等およびその家庭に対する支援
- 15 子ども家庭支援に関する現状と課題・まとめ

### 授業の方法

講義に加えてプレゼンテーションやディスカッションをとり入れる。

### 準備学修

Webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

レポートの提出を求め、授業中にフィードバックを行う。平常点30%、定期試験70%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点する。

### テキスト

松村和子編著『子ども家庭支援論』建帛社

### 参考図書

内閣府『少子化社会対策白書』  
授業中に必要に応じて指示する。

### 留意事項

「現代家族関係論」を先に履修しておくことが望ましい。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
乳児保育 I			17778	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	2	公立保育所保育士			

### 授業の到達目標

乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。乳児期（3歳未満児）の発育・発達と保育について学び、保育所や乳児院等における乳児保育の現状と課題についても理解する。なお健やかな成長を支えるための生活と遊びなど乳児保育の理論や知識・技術の具体的な事例を通して保育の内容を理解する。また、乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）E（倫理）を考える。

### 授業の概要

わが国における乳児保育の歴史の変遷と保育所・乳児院・家庭の現状を資料を基に把握し、保育所や乳児院の果たす役割、乳児保育を担当する保育者としての役割を理解する。また、乳児を集団で保育することについて、保育現場での具体的な課題、いわゆる保育環境や長時間保育での乳児の生活の仕方など援助の実態を理解し、乳児の保育にあたる保育者としての専門的な能力を身につけられるようにする。

### 授業計画

- 1 乳児保育とは（DVD視聴「乳幼児の発達と保育 0歳児」）
- 2 乳児保育の歴史と0・1・2歳児の保育の現状
- 3 思春期を見通した乳児の保育
- 4 愛されて育つということの意味（DVD視聴「アタッチメント関係」）
- 5 胎児の世界
- 6 乳児期の発達と保育内容（DVD視聴「乳児の成長記録」）
- 7 乳児期の発達と保育内容（DVD視聴「乳児の成長記録」）
- 8 乳児保育の実態
- 9 乳児期の環境と人間関係（DVD視聴「人とのかかわりの中で学ぶ」）
- 10 乳児期の環境（DVD視聴「物とのかかわりの中で学ぶ」）
- 11 乳児期の生活と保育
- 12 乳児の発達過程と援助
- 13 0・1・2歳児をめぐる現状と子育て支援  
さまざまな発達の考え方
- 14 保育所における全体的な計画と0・1・2歳児の指導計画

15 まとめ

16

### 授業の方法

講義と演習を中心とし、内容に沿ったDVD視聴を取り入れたり、実際体験をする。

### 準備学修

Webで確認すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%  
レポートの提出を求め、講義の中でフィードバックを行う。

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

### テキスト

新時代の保育双書 乳児保育第4版 （株）みらい 大橋貴美子編

### 参考図書

乳児保育の基本 責任編集 汐見稔幸・小西行郎・榊原洋一 フレーベル館  
保育の内容・方法を知る 乳児保育〔新版〕 増田まゆみ編著 北大路書房  
保育所保育指針解説 フレーベル館  
乳児の生活と保育 ななみ書房

### 留意事項

教室を出ての実際体験等を含むため、授業計画の変更もある。授業課前のボードをよく注意して見ておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
乳児保育Ⅱ			17779	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	1	公立保育所保育士			

### 授業の到達目標

乳児保育Ⅰを踏まえて、乳児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助やかかわりについての理解を深め、養護と教育の一体性を考えた生活や遊びと、保育の方法について、実際体験を通して具体的に理解する。また、そのための指導計画のあり方を学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）E（倫理）を考える。

### 授業の概要

乳児保育Ⅰでの授業を振り返りながら、乳児保育とはどういうものであるかを、実際体験や演習を通して再認識し、またその保育をする上での計画について理解を深め、乳児保育にあたる保育者として専門的能力を身につけられるようにする。

### 授業計画

- 1 乳児保育の基本 乳児保育はなぜ必要か。
- 2 乳児保育の基本 乳児保育の役割。
- 3 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際
- 4 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際
- 5 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際
- 6 乳児保育の実際(教室を出て実際体験をする。DVD視聴)
- 7 乳児保育における計画の実際
- 8 乳児保育における配慮の実際
- 9
- 10

### 授業の方法

講義と演習を中心とし、内容に沿ったDVD視聴を取り入れたり、実際体験をする。

### 準備学修

Webで確認すること。

### 課題・評価方法、その他

平常点70%、定期試験30%  
レポート提出を求め、講義の中でのフィードバックを行う。

### 欠席について

出席状況も成績評価の対象とする。

### テキスト

はじめて学ぶ 乳児保育 第3版 同文書院 志村聡子編著者

### 参考図書

保育所保育指針解説（フレーベル館）  
新時代の保育双書 乳児保育 第3版 （株）みらい 大橋貴美子編  
乳児の生活と保育（改訂版） ななみ書房 松本園子編著  
あそびうた大全集 永岡書店

### 留意事項

教室を出ての実際体験もあるため、授業計画の変更もある。教務課前掲示板をよく注意しておくこと。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
障害児保育			17782	Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	2	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

- ①障害児保育を支える理念や歴史の変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。
  - ②個々の特性や心身の発達等にに応じた援助や配慮について理解する。
  - ③障害児その他の配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。
  - ④障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。
  - ⑤障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。
- 以上をライフステージを見通して理解する。このクラスは、KAISEIパーソナリティK（思いやり）とI（知性）を考える。

### 授業の概要

障害児保育を支える理念を理解し、障害児その他の特別な配慮を要する子どもの理解と保育における発達の援助について、個々の特性を具体例を挙げて理解を深めていく。また、子どもの保育の実践として、指導計画及び個別の支援計画の作成や個々の発達を促す生活や遊びの環境、子ども同士の関わりと育ち合いについて、実践例から考えていく。グループディスカッションを通して、意見交換を行い、発表を行う。  
発表後、教員がフィードバックを行う。障害児その他の配慮を要する子どもの家庭支援について、具体例を挙げて解説する。最後に現状と課題について考察していく。

### 授業計画

- 1 障害児保育を支える理念
- 2 知的障害児の理解と支援
- 3 肢体不自由児・重症心身障害児・医療的ケアの理解と支援
- 4 視覚障害児・聴覚障害児の理解と支援
- 5 言語障害・場面緘黙のある子どもの理解と支援
- 6 発達障害児の理解と支援①(ASD)
- 7 発達障害児の理解と支援②(ADHD・LD)
- 8 生活課題を抱える家庭の子どもの理解と援助
- 9 子ども同士の関わりと育ち合いと子どもをみる視点
- 10 指導計画および個別の支援計画の作成、職員間の連携・協働

- 11 保護者や家族に対する理解と支援、保護者間の交流や支え合い
- 12 障害児支援の制度の理解と地域における自治体や関係機関の連携・協働
- 13 小学校等との連携・就学に向けて
- 14 特別な配慮を必要とする子どもの保育に関わる現状と課題
- 15 まとめ 定期試験

### 授業の方法

講義を主とするが、双方向の討議も取り入れて受講者が主体的に参加できる形式も採り入れる。

### 準備学修

日常生活の一コマを、一つの考え方にこだわらずに複数の視点で考えてみる姿勢を望む。

### 課題・評価方法、その他

平常点50%、定期試験50%

### 欠席について

欠席1回につき3点減点、遅刻1回につき1点減点とする。

### テキスト

障害児保育演習ブック ミネルヴァ書房

### 参考図書

授業中に紹介する。

### 留意事項

国の障害者施策および事業に関心を持つ

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育実習指導 I A			17812	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
渋谷 美智	選択	1	公立保育所保育士			

### 授業の到達目標

保育所実習の意義・目的および実習の内容を理解し、自らの課題を明確化する。なお保育所実習を円滑に進めていくため実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解し、実習がより効果的に行えるようにする。また、子どもの人権と最善の利益、プライバシーなどの守秘義務について理解する。事後指導においては、「保育実習Ⅱ」に向けての課題や学習目標を明確にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）、E（倫理）を考える。

### 授業の概要

保育所実習の意義・目的・方法を理解し、実習内容・心構え・実習記録の意義と記録の仕方について学ぶ。なお初めての保育所実習を受けるにあたり各教科の講義で得た知識をもとに「保育所とは」を理解し、保育所の機能や保育士の役割、子どもの理解、日々の子どもの生活や遊びの援助の仕方について習得し、保育現場での実践に結びつけられるようにする。事後指導では、「保育実習Ⅰ」の総括と自己評価を行い、「保育実習Ⅱ」に向けての新たな課題や学習目標を明確にし、より「保育実習Ⅱ」が効果的に行えるようにする。

### 授業計画

- 1 保育所実習の意義・目的・概要について理解する
- 2 保育所の役割と機能を理解する
- 3 発達過程の理解を深める
- 4 保育の計画について再認識し、理解を深める 実習指導案の書き方を知る
- 5 保育内容の実践
- 6 実習生個人票の作成およびオリエンテーションの受け方、事務手続きについて理解する
- 7 実習記録の書き方を知る
- 8 実習に際しての心構え、留意事項(事後の実習園に対するお礼状の書き方等含む)
- 9 事後指導における実習の総括と自己評価・課題の明確化

### 授業の方法

講義・演習・実践により進める。

### 準備学修

webで参照すること。

### 課題・評価方法、その他

授業出席状況・諸提出物・実習記録などにより評価する。定期試験は実施しない。

### 欠席について

欠席は、1回につき5点減点とする。

### テキスト

保育実習指導の手引き（海星版）  
必要資料については随時プリントを配布する。

### 参考図書

あそびうた大全集 永岡書店  
手あそび百科 ひかりのくに  
実習の記録と指導案 ひかりのくに  
3. 4. 5歳児が夢中になる実践！造形遊び ナツメ社

### 留意事項

実習を受けるまでに乳幼児の発達過程をしっかり把握し、保育実践の知識や技術をできるだけ多く身につけておく（絵本の読み聞かせ・制作・手あそび・歌など）

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

関連科目〈資格関連科目〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
保育実習指導 I B			17813	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
成木 智子	選択	1	公立保育所保育士 私立保育園保育士			

### 授業の到達目標

保育実習の意義・目的および実習の内容を理解し、自らの課題を明確化する。なお実習を円滑に進めていくため実習の計画、実践、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解し、実習がより効果的に行えるようにする。また、子どもの人権と最善の利益、プライバシーなどの守秘義務について理解する。事後指導においては、自己評価を行い課題や学習目標を明確にする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とS（奉仕）、E（倫理）を考える。

### 授業の概要

実習の意義・目的・方法を理解し、実習内容・心構え・実習記録の意義と記録の仕方について学ぶ。なお実習を受けるにあたり各教科の講義で得た知識をもとに「児童福祉施設とは」を理解し、機能や保育士の役割、子どもの理解、日々の子どもの生活や遊びの援助の仕方について習得し、保育現場での実践に結びつけられるようにする。事後指導では、自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にしていく。

### 授業計画

- 1 実習の意義・目的・概要について理解する。
- 2 各施設の役割と機能を理解する。①
- 3 各施設の役割と機能を理解する。②
- 4 施設実習の準備と心構えを理解する。①
- 5 施設実習の準備と心構えを理解する。②
- 6 実習における観察・記録・評価の仕方を理解する。
- 7 実習記録の書き方を理解する。実践及び実習に関する諸手続
- 8 実習についての心構え、留意事項などの確認(実習事後の御礼状の書き方なども含む)
- 9 事後指導における実習の総括と自己評価、課題の明確化

### 授業の方法

講義・演習・実践により進める。

### 準備学修

webで参照すること。

実習施設についての概要を事前に調べる。手あそびを数多く知るようにしたり、絵本の読み聞かせの練習をしたりする。

### 課題・評価方法、その他

授業出席状況・諸提出物・実習記録などにより評価する。定期試験は実施しない。

### 欠席について

欠席は、1回につき5点減点とする。遅刻は3点減点とする。

### テキスト

「施設実習 パーフェクトガイド」 わかば社  
「【改訂2版】これだけは知っておきたい保育のマナーと言葉」わかば社

### 参考図書

あそびうた大全集 永岡書店  
手あそび百科 ひかりのくに  
実習の記録と指導案 ひかりのくに

### 留意事項

実習を受けるまでに乳幼児の発達過程をしっかり把握し、保育実践の知識や技術をできるだけ多く身につけておく。

### オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。  
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。